

VI 就職（民間企業）

就職することの意義とか、就職するにあたっての心構えとか、その他もろもろの事柄について記述するには紙面がいくらあっても足りません。そこで、一番大切なことについて述べます。高校を卒業したら就職する、ということがチラッとでも頭の中をよぎったら、それが一般企業であろうと公務員であろうと、すぐに**担任に相談**しましょう。就職の申込**期日を過ぎてから相談しても**、後の祭りです。

そして担任と就職担当者と**常に連絡**を絶やさないようにして**最新の情報**を手に入れましょう。人にまかせっきりにしないで、**自分から行動**しましょう。会社見学・説明会等の参加、パンフレット・インターネット等からの情報の掌握などなど。行動する前にも、そして、行動した後にも担任、就職担当の2人に**常に連絡**をしましょう。

高校生は、求人雑誌等を見て**自分だけで就職に応募することはできません**。必ず**学校を通して企業に応募**します。履歴書は就職担当から受け取り、就職者用の**全国統一応募用紙**(←調査書のこと)は就職担当から3年担任へ渡されるので、担任が作成することになります。

求人は7月1日に求人票送付が解禁となり、その中から自分の希望にあった企業を探します。学校にハローワークから求人票が送られてきます。もし就職希望の企業から求人票が来ていない場合には、該当年度に募集はあるのか、学校に求人票を送ってもらえるのか等を、学校を通して問い合わせをお願いしてみましょう。

希望する企業がみつかったら、夏休み中に企業見学をして、どんな職場かまた勤務条件は何かなどを確認しましょう。見学に際しても、就職担当の先生の指示を仰ぎましょう。

9月中旬から就職試験が始まります。試験の内容などは企業によって異なります。普通、面接と作文があります。また、筆記試験のある企業もあります。**就職担当の先生に相談して準備**しましょう。

【スケジュール】	7月1日～	求人票が来る
	夏季休業中	会社見学（学校を通して連絡）
	9月中旬	採用試験（学校を通して連絡）
		内定

採用試験は、一般的に面接と作文で、他に一般常識問題が課せられることも多いです。